

設問

【問い1】 新たな質問・視点

- 1) 営業事務の仕事はあたりまえ、とのことですが、どのようなことをしているのでしょうか。
- 2) どうして営業になると定時で帰るとか"ちよと"難しくなると考えているのでしょうか。
- 3) 介護休暇をとろうかなと思われたのは、何か事情があったのでしょうか。
- 4) 介護について考えていることだらけとのことですが、まず"ひとつ"お伺いできますか。
- 5) 正社員の営業事務が"最後のひと"というのは、今まで何があったのでしょうか。
- 6) 介護休暇について今まで"上司に相談してなかったのは"どうしてなののでしょうか。

【問い2】

良かった点

事例Ⅰの CCt10 (相応しい・相応しくない)

理由: 体制変更の中で、介護に関する問題を抱えながら不安を感じているCLの話を丁寧に聴き、少しずつお話をいただいていることから信頼関係の構築が始まっている。

悪かった点

事例Ⅱの CCt10 (相応しい・相応しくない)

理由: 営業へ変わることで定時帰りが本当に出来なくなるか、確認したのが、質問できていない。また介護についての不安について問いかけが出来ておらずお話をいただけてない。

【問い3】 あなたの考える相談者の問題

CLは家庭の事情である介護の問題から定時帰社をしているが、その働き方が"体制変更の話"があるのではないかと聞き、自身が"これまで"の状況から営業に変更になるのではないかと推測している。そのことで定時帰社が"できなくなるのではないかと"横断し、不安を感じているように見受けられる点。また、"みたいな"という発言や、介護休暇について上司と話は未だできていない様子から、会社、上司とのコミュニケーション不足が見受けられる。

【問い4】 とのようなやりとりで面談を展開するか

介護の不安という家庭の事情を抱えながら、変化ある会社の中で働き続けているCLを労い、丁寧に話を聴くことで、さらなる信頼関係の構築に努める。そのうえで、CLの営業の仕事に対する考えを問いかけて仕事理解を深めていく。定時退社が本当に難しくなるのか、考えていただく。また、介護にどの程度CLが"時間や労力を費や"なければならなくなるのかを共に整理させていただき、会社との話し合う場を設けらるよう提案する。最終的にはCLのワークライフバランスのとれた働き方を主体的に選択できよう支援していく。